



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所 東  
 コード番号 4975 URL <https://www.jcu-i.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 小澤 恵二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略室副室長 (氏名) 井上 洋二 (TEL) 03-6895-7004  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,599	38.5	1,726	23.6	1,738	30.9	1,288	30.7
30年3月期第1四半期	4,764	3.6	1,396	32.5	1,327	51.8	985	73.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 700百万円(△40.4%) 30年3月期第1四半期 1,173百万円(947.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	46.30	—
30年3月期第1四半期	35.44	—

(注) 平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	30,302	23,000	75.7
30年3月期	32,230	22,996	71.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 22,930百万円 30年3月期 22,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	35.00	—	50.00	85.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 5円00銭  
 3. 平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	26.8	3,300	6.2	3,300	7.8	2,300	2.3	82.64
通期	26,000	12.5	7,300	5.1	7,300	4.7	5,200	6.0	186.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社そらぶちファーム、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	27,831,914株	30年3月期	27,831,914株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1株	30年3月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	27,831,914株	30年3月期1Q	27,817,098株

(注) 平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの業績は、海外における薬品の販売が順調に推移したことに加え、めっき装置の販売が好調に推移したことにより、売上高は6,599百万円（前年同期比38.5%増）となりました。この結果、営業利益は1,726百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益は1,738百万円（前年同期比30.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,288百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

## (薬品事業)

薬品事業におきましては、ハイエンドスマートフォン向けの需要が低迷したものの、中国系スマートフォン向けの需要については高機能化等を背景に堅調に推移したことに加え、その他の電子機器向けの需要も堅調であったことから、中国、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が順調に推移しました。中国においては拡販による顧客獲得を背景に、自動車部品用めっき薬品販売も堅調に推移しました。この結果、売上高は4,887百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は1,905百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

## (装置事業)

装置事業におきましては、大型めっき装置案件の獲得が少なかったことから、受注高は214百万円（前年同期比55.0%減）となりました。手持ちの工事契約が順調に進捗し、売上高は1,703百万円（うち、旧新規事業売上高419百万円）（前年同期比651.4%増）、セグメント利益は90百万円（前年同期はセグメント損失45百万円）となりました。なお、受注残高は2,398百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

## (その他)

その他事業におきましては、売上高は9百万円（前年同期比6.2%減）となり、セグメント損失は13百万円（前年同期はセグメント損失19百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,928百万円（6.0%）減少し、30,302百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、前渡金の減少により2,014百万円（8.3%）減少し、22,124百万円となりました。

固定資産は、主にJCU表面技術(湖北)有限公司における工場建設に伴う建設仮勘定の増加により85百万円（1.1%）増加し、8,177百万円となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,932百万円（20.9%）減少し、7,302百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少や、前受金の減少、法人税支払いによる未払法人税等の減少により1,843百万円（26.4%）減少し、5,134百万円となりました。

固定負債は、主に借入返済による長期借入金の減少により88百万円（3.9%）減少し、2,168百万円となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、円高による為替換算調整勘定の減少、配当金支払いによる利益剰余金の減少の一方、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ3百万円（0.0%）増加し、23,000百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年 5 月 9 日の「平成30年 3 月期 決算短信」で公表いたしました第 2 四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,528,085	12,299,937
受取手形及び売掛金	7,437,495	7,156,692
商品及び製品	1,318,175	1,311,126
仕掛品	285,899	204,196
原材料及び貯蔵品	415,774	446,605
その他	1,332,732	875,978
貸倒引当金	△178,684	△169,684
流動資産合計	24,139,478	22,124,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,426,631	2,329,191
機械装置及び運搬具（純額）	631,270	599,150
工具、器具及び備品（純額）	472,073	432,423
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	90,122	86,274
建設仮勘定	48,112	496,338
有形固定資産合計	4,191,034	4,466,202
無形固定資産		
のれん	1,823	1,548
その他	48,876	45,892
無形固定資産合計	50,699	47,441
投資その他の資産		
投資有価証券	2,801,022	2,765,662
繰延税金資産	702,019	559,302
その他	346,689	338,747
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,849,730	3,663,712
固定資産合計	8,091,464	8,177,356
資産合計	32,230,943	30,302,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,796,520	1,168,234
電子記録債務	1,518,545	1,348,302
短期借入金	177,398	219,194
1年内返済予定の長期借入金	431,168	384,193
リース債務	17,048	15,606
未払法人税等	954,646	450,115
賞与引当金	352,980	212,773
工事損失引当金	17,101	14,181
前受金	686,396	202,145
その他	1,026,080	1,119,287
流動負債合計	6,977,886	5,134,035
固定負債		
長期借入金	647,749	564,982
リース債務	108,890	105,578
退職給付に係る負債	1,137,844	1,171,962
繰延税金負債	62,793	30,453
資産除去債務	230,643	231,066
その他	69,056	64,094
固定負債合計	2,256,976	2,168,136
負債合計	9,234,863	7,302,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,191,575	1,191,575
資本剰余金	1,138,544	1,138,464
利益剰余金	19,044,487	19,637,437
株主資本合計	21,374,607	21,967,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509,994	450,115
為替換算調整勘定	1,040,946	512,931
その他の包括利益累計額合計	1,550,941	963,046
非支配株主持分	70,531	69,512
純資産合計	22,996,079	23,000,036
負債純資産合計	32,230,943	30,302,207

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,764,317	6,599,750
売上原価	1,567,997	3,026,694
売上総利益	3,196,319	3,573,056
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	607,279	585,218
賞与	175,610	174,036
退職給付費用	36,496	47,387
減価償却費	86,948	90,037
その他	893,200	949,801
販売費及び一般管理費合計	1,799,535	1,846,481
営業利益	1,396,783	1,726,574
営業外収益		
受取利息	5,139	7,345
受取配当金	19,919	22,545
貸倒引当金戻入額	2,739	5,399
その他	9,280	9,981
営業外収益合計	37,079	45,271
営業外費用		
支払利息	3,446	4,320
為替差損	90,740	21,463
持分法による投資損失	11,528	5,496
その他	458	2,386
営業外費用合計	106,174	33,666
経常利益	1,327,688	1,738,179
特別利益		
固定資産売却益	—	142
特別利益合計	—	142
特別損失		
固定資産売却損	2,417	—
固定資産除却損	926	344
特別損失合計	3,343	344
税金等調整前四半期純利益	1,324,344	1,737,977
法人税、住民税及び事業税	206,616	317,994
法人税等調整額	130,835	133,359
法人税等合計	337,451	451,354
四半期純利益	986,893	1,286,623
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	919	△2,123
親会社株主に帰属する四半期純利益	985,974	1,288,747



## 四半期連結包括利益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月30日)
四半期純利益	986, 893	1, 286, 623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169, 799	△59, 878
為替換算調整勘定	1, 194	△540, 822
持分法適用会社に対する持分相当額	15, 804	14, 147
その他の包括利益合計	186, 798	△586, 554
四半期包括利益	1, 173, 691	700, 069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 168, 326	700, 852
非支配株主に係る四半期包括利益	5, 365	△783

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2018年6月29日付で株式会社そらぶちファームを新たに設立し、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、株式会社そらぶちファームは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,527,898	226,651	4,754,550	9,767	4,764,317	—	4,764,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,527,898	226,651	4,754,550	9,767	4,764,317	—	4,764,317
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,700,467	△45,584	1,654,882	△19,634	1,635,248	△238,464	1,396,783

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△238,464
合計	△238,464

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第 1 四半期連結累計期間(自平成30年 4 月 1 日 至平成30年 6 月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,887,576	1,703,013	6,590,589	9,160	6,599,750	—	6,599,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,887,576	1,703,013	6,590,589	9,160	6,599,750	—	6,599,750
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,905,446	90,862	1,996,308	△13,708	1,982,599	△256,025	1,726,574

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△256,025
合計	△256,025

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第 1 四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「薬品事業」「装置事業」「新規事業」の 3 事業から、「薬品事業」「装置事業」の 2 事業とし、報告セグメントに含まれない「その他」を追加いたしました。

上記の変更に伴い、従来「新規事業」に含めておりました、プラズマ技術を利用したプリント配線板洗浄装置、太陽光発電装置、太陽光発電による売電等を「装置事業」、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を「その他」に含めております。

なお、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。